

NEWS RELEASE

報道関係各位

2023年3月6日

【ランサムウェア対策で新たな連携】 被害を最小化するバックアップデータの“オフライン”自動保管で Veeam Software社と連携

アライドテレシス株式会社（本社 東京都品川区、代表取締役会長 サチエ オオシマ）は、当社が提供しているランサムウェア被害からバックアップデータを守るサービス、Net.Pro「AT-Offline Manager」がヴィーム・ソフトウェア株式会社のデータのバックアップ・復元・管理が一つになったソリューション「Veeam Backup & Replication」と連携し、ランサムウェア対策のデータ保護ソリューションとしてより強化し、サービスを拡充いたしました。



サイバー攻撃による被害は増加の一途をたどり、攻撃手法の中でも「ランサムウェア」による被害事例が多発しています。毎年発表されるIPA^(※1)の「情報セキュリティ10大脅威」では、ランサムウェア被害は2021年から3年連続1位とされています。^(※2)

ランサムウェア攻撃を受けた際、データを暗号化され身代金を支払ったとしてもデータ復旧が保障されない場合があります。また、バックアップデータまでもが暗号化されてしまうと復旧対応が長期化し、事業の停止も余儀なくされ、最悪の場合は事業の存続にも影響を及ぼしかねません。事業の再開はデータの復旧にかかる時間に左右され、これまで以上にバックアップデータへのセキュリティ対策が求められています。

このようなことを背景に、アライドテレシスは2022年9月1日にご提供を開始したランサムウェア被害からバックアップデータを守るサービス、Net.Pro「AT-Offline Manager」において、更なるサービス拡充を図るため、世界で多くの実績と信頼を獲得しているヴィーム・ソフトウェア株式会社（以降、Veeam Software社）の「Veeam Backup & Replication」と連携いたしました。

<Veeam Software社と連携>

Veeam Software社の「Veeam Backup & Replication」は高速なデータのバックアップ・リストアを実現するデータ保護ソリューションです。

●「Veeam Backup & Replication」の主な機能

①データバックアップ：

クラウド、仮想、物理、NASなどデータも高速、安全にバックアップ

②データ復元：

大規模な復元を瞬時にでき、また、ポータブルなデータ形式でクラウドやプラットフォームをまたいだ復元も実施

③データセキュリティ：

ランサムウェアなどのマルウェアによるバックアップファイルの改変・削除を防止する「書き換え防止（オブジェクトロック）」で真に有効なデータ保護をご提供

今回の連携について、ヴィーム・ソフトウェア株式会社 執行役員社長 兼 バイスプレジデント 古舘正清様より以下のエンドースメントをいただいております。

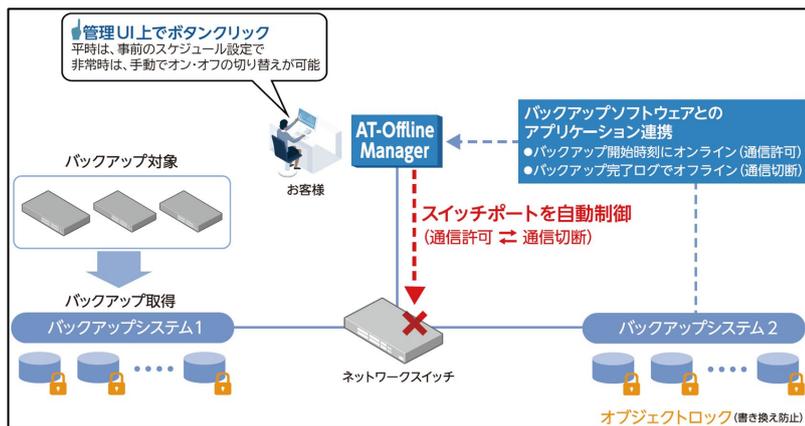
アライドテレシス様のオフラインバックアップシステム「AT-Offline Manager」と、Veeamの主力製品である「Veeam Backup & Replication」が連携開始できることを、大変光栄に思います。ランサムウェア攻撃の被害が拡大する中、企業はデータの安全性を確保することにますます注力しています。また、Veeamが今年1月に発表したデータ保護市場に関する年次調査レポート「データプロテクションレポート 2023」では、2023年の企業の最優先課題は、バックアップの信頼性と成功率を向上させることであることが明らかになりました。今回の連携を通して、お客様のランサムウェア対策を一層強固にし、より安全で確実なデータ保護戦略を支援できるものと確信しています。

<Net.Pro「AT-Offline Manager」の特長>

● バックアップデータは自動化されたネットワーク制御で「オフライン」に保管

ネットワークへランサムウェアの侵入を許してしまった場合、一般的なバックアップ構成だと保管先が常時オンラインに接続状態であるため、バックアップデータまでランサムウェアに感染するという重大なリスクが発生します。

【ネットワーク制御でバックアップ環境を自動オフライン化、手動での操作も可能】



AT-Offline Managerは、バックアップ環境のオフライン/オンラインの接続状態を、ネットワーク制御で自動化します。ネットワーク制御は、API連携およびスケジュール設定により実現します。これにより、バックアップ取得中以外は攻撃の対象とならないオフライン状態を保ち、データを安全に保管します。なお、データ復旧の際もオフライン/オンラインの実行を管理画面上から手動にて操作可能ですので、迅速な復旧対応ができ、被害と業務停止期間を最小限に留めることが可能です。

【管理画面の例】

【制御するスイッチの管理画面】

制御するスイッチを選択

<定期実行> か <API連携> を選択

ポート制御の種別 <shutdown> か <no shutdown> を選択

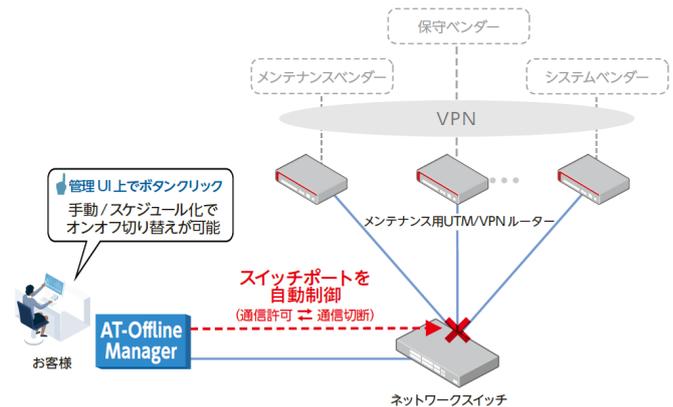
- ・API連携はスクリプトベース
- ・定期実行タスクとして登録が必要

ID	タスク名	Action	種別	Interfere/Access List	Priority	有効/無効	Up/Down	繰り返し
1	sh001	shutdown	API連携 (スクリプト)	port1.0.1	10			毎日
2	sh002	shutdown	API連携 (スクリプト)	vsw000	10			毎日
3	sh003	shutdown	API連携 (スクリプト)	port1.0.2	10			毎日
4	sh004	shutdown	定期実行	vsw000	10		2022-08-02 11:00:00	毎日
5	sh005	shutdown	定期実行	port1.0.1	10		2022-08-09 11:30:00	毎月
6	sh006	shutdown	定期実行	vsw000	10		2022-08-30 12:45:45	毎月
7	sh007	shutdown	定期実行	port1.0.1	10		2023-09-30 15:00:00	毎月
8	sh008	shutdown	特別設定 (1度のみ実行)	vsw000	10			

● セキュリティホールとなるメンテナンス用回線の制御にも

例えば利用しているシステムの保守やメンテナンスのためにインターネット経由でベンダーがLAN内に入る場合も、必要に応じてAT-Offline Managerでポートのオンオフの制御が可能です。

これにより、従来バックドアとしてセキュリティホールになってしまうメンテナンス用の回線も安全性が確保できます。



■ オフラインバックアップサービス「AT-Offline Manager」の詳細は次のURLからご確認いただけます。
<https://www.allied-telesis.co.jp/solution/offline-backup/>

アライドテレシスはこれからもITインフラの視点からサイバーセキュリティ対策を考え、お客様に最適なサービス、ソリューションの開発とご提供を引き続き進めてまいります。

ヴェーム・ソフトウェア株式会社について

Veeam®は、ハイブリッドクラウドにおけるデータセキュリティ、データ復旧、自由なデータ移行を通じたレジリエンスを企業に提供します。Veeam Data Platformは、クラウド、仮想、物理、SaaSおよびKubernetes環境向けの単一ソリューションで、アプリやデータを常に保護・利用可能にすることで、企業の事業継続を支援しています。

Veeamは、米国オハイオ州コロンバスに本社を置き、世界30か国以上で事業所を展開しています。フォーチュン 500の82%以上、グローバル 2,000の72%以上を含む45万社以上のお客様を保護しています。Veeamのグローバルエコシステムには、3万5,000社以上のテクノロジーパートナー、リセラーパートナー、サービスプロバイダー、アライアンスパートナーが含まれています。

公式HP : <https://www.veeam.com/jp>

LinkedIn : <https://www.linkedin.com/company/veeam-software/> "@veeam-software

Twitter : https://twitter.com/veeam_japan/ "@veeam_japan

(※1) 独立行政法人 情報処理推進機構

(※2) 引用元：情報処理推進機構(<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/10threats2023.html>)

注) AT-Offline Manager単体でのご提供はいたしません。10Gスイッチ、管理スイッチ、VPN、Net.Monitor、Net.Pro、バックアップ管理サーバー、Hyper-V、サーバーハードウェアとのパッケージ商品としてのご提供となります。詳しくは下記URLのお問い合わせフォームよりご連絡ください。<https://www.allied-telesis.co.jp/contact/form/privacy.html>

注) 記載されている商品またはサービスの名称等はアライドテレシスホールディングス株式会社、アライドテレシス株式会社およびグループ各社、ならびに第三者や各社の商標または登録商標です。

<<製品に関するお問い合わせ>>

E-Mail: info@allied-telesis.co.jp

<https://www.allied-telesis.co.jp>

アライドテレシス株式会社

<<ニュースリリースに対するお問い合わせ>>

マーケティングコミュニケーション部

Tel: 03-5437-6042 E-Mail: pr_mktg@allied-telesis.co.jp

東京都品川区西五反田 7-21-11 第2 TOC ビル